

秋季青空教室

8月22日（金）空知農業改良普及センター
空知支所主催の秋季青空教室が江部乙2-2地区



収穫のポイントについて、また収穫後の次年度に向けての準備、対策を説明されました。
小麦は種前講習会では、同じく普及センター・中空知支所・山本鈴鹿普及指導員が、令和8年産秋まき小麦の安定生産を目指して、適期は種の重要性、越冬前の防除対策について説明をされました。

講習会は、栽培技術の向上や地域の情報交換を目的として、定期的に開催を行っておりますので、今後も組合員の方々の多くの参加をお待ちしております。



で行われました。
主に水稻の生育概況、適期刈取の目安について説明がありました。
普及センター・中空知支所・水尾健斗普及指導員からは「例年よりも生育状態が一週間程早く、稲刈りが9月5日頃から刈取が始まるので

水稻適期刈取判定

はないか」との見解がありました。
2-2地区の農家さんたちは適期刈取を行った後、自分たちのお米を見比べ、いつ頃からが良いのかと話し合う光景も見受けられました。



8月27日（水）に江部乙検査場にて水稻適期刈取判定を関係機関の協力を得て行いました。
今年度は、全地区合計で269点のサンプル